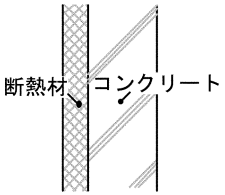
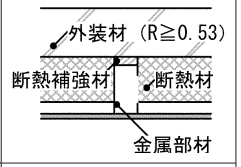
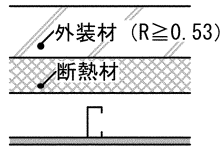
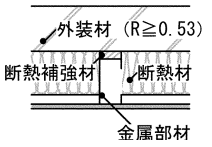
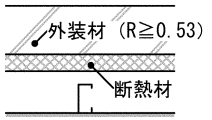
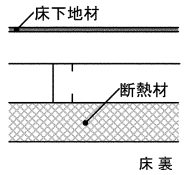
	0.53	床裏が外気に接しない場合であって、コンクリートスラブの下側（外気側）に、Rが1.5以上の断熱材を打込み、貼付け、又は吹付けた断熱構造とする場合	
基礎	木造住宅　充填断熱工法の仕様例と同様		
表中の熱貫流率は構造熱橋部により貫流する熱量を除いた値とする。以下同じ。			

別表第５

鉄筋コンクリート造等の住宅　外断熱工法の仕様例			
部位	熱貫流率（単位１平方メートル１度につきワット）	仕様の詳細	断面構成図
屋根	0.32	屋根コンクリートスラブの上側（外気側）に、Rが3.0以上の断熱材を貼付けた断熱構造とする場合	
	0.41	屋根コンクリートスラブの上側（外気側）に、Rが2.3以上の断熱材を貼付けた断熱構造とする場合	
	0.43	屋根コンクリートスラブの上側（外気側）に、Rが2.2以上の断熱材を貼付けた断熱構造とする場合	
外壁	0.49	コンクリートの外側（外気側）に、Rが1.9以上の断熱材を貼付け、打込み、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.58	コンクリートの外側（外気側）に、Rが1.5以上の断熱材を貼付け、打込み、又は吹付けた断熱構造とする場合	
	0.86	コンクリートの外側（外気側）に、Rが1.0以上の断熱材を貼付け、打込み、又は吹付けた断熱構造とする場合	
床	鉄筋コンクリート造等の住宅　内断熱工法の仕様と同様		
基礎	木造住宅　充填断熱工法の仕様例と同様		

別表第６

鉄骨造の住宅の仕様例			
部位	熱貫流率（単位１平方メートル１度につきワット）	仕　様　の　詳　細	断面構成図
天井	木造住宅　充填断熱工法の仕様例と同様（金属熱橋が存在しない場合に限る。）		
外壁	0.35	Rが0.53以上の外装材で、断熱層を貫通する金属部材間にRが4.1以上の断熱材を充填し、Rが0.72以上の金属部材の断熱補強材を設けた断熱構造とする場合	
		Rが0.53以上の外装材の内側に、Rが2.2以上の断熱材を貼付け、又は吹付けた断熱構造とする場合（ただし、断熱材を貫通する金属熱橋が存在しない場合に限る。）	
	0.53	Rが0.53以上の外装材で、断熱層を貫通する金属部材間にRが2.6以上の断熱材を充填し、Rが0.33以上の金属部材の断熱補強材を設けた断熱構造とする場合	
		Rが0.53以上の外装材の内側に、Rが1.3以上の断熱材を貼付け、又は吹付けた断熱構造とする場合（ただし、断熱材を貫通する金属熱橋が存在しない場合に限る。）	
床	0.24	床裏が外気に接する場合であって、床梁の下側にRが4.5以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
	0.34	床裏が外気に接する場合であって、床梁の下側にRが3.2以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合 床裏が外気に接しない場合であって、床梁の下側にRが3.0以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
	0.48	床裏が外気に接しない場合であって、床梁の下側にRが2.0以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
基礎	木造住宅　充填断熱工法の仕様例と同様		

別表第７

建具とガラスの組合せの例				日射熱取得率			熱貫流率（単位　１平方メートル・度につき１ワット）
建具の仕様		ガラスの仕様		ガラスのみ	紙障子	外付けブラインド	
窓・引戸・框ドア	一重構造の建具で、木製又はプラスチック製であるもの	２枚以上のガラス表面に低放射膜を使用した低放射三層複層ガラス（中空層の厚さが７ミリメートル以上のものであってガスが封入されているもの）	日射取得型	0.54	0.34	0.12	1.60
			日射遮蔽型	0.33	0.22	0.08	